

講師の横顔

山口きらめき財団では、登録講師を、団体やグループが行う男女共同参画の研修会へ派遣しています。そうした講師の方々の横顔を紹介していきます。



いまい よしこ
今井 佳子さん

とおっしゃいます。相手の話を真剣に聴くことは感情を揺さぶられる作業となることが多く、想像以上にぐったりすることがあると説明されました。

今井さんは山口大学を卒業後、教員となられました。結婚・出産を期に退職されました。お子さんが大きくなると、今度は学習塾を始められました。「塾は楽しかった」と話されますが、39歳の時にもう一度勉強したいと思いつ、塾を閉めて母校の門をたくこたになりました。心理学をやりたい

と思うって問い合わせの電話をしたところ、運よく担当教授が電話に出られました。そのまま研究生として入学でき、今度は大学院に進むことになりました。大学院を卒業すると、そのまま精神科の病院に就職。数年後に山口赤十字病院に移られました。その後、山口大学の学生相談室に赴任され、学生の相談対応に当たってこられました。

今井さんの話を聞いてみると、常に何かにチャレンジしている姿が目につかびます。ご自身のキャリアの節目について「運が良かった」「たまたま良い人に巡り合えた」という言葉を付け加えられますが、ご自身の前向きな姿勢が、周りの状況を良い方向に変えていかれたのではないのでしょうか。心理士としてのキャリアが20年近くなることに自分でも驚いているとのこと。また何か別のことをしてみたいと楽しそうに話されたのがとても印象的でした。

(取材・原田)



今井佳子さんの講演

社会生活の中で、私たちはいろいろな精神的ストレスを感じるがあります。そうしたストレスが重なって起こる心の問題についての分野を担当していただいている、今井佳子さんを紹介します。臨床心理士として多くの相談を受ける毎日の今井さんは、こうした仕事のことを「感情労働」

専門分野
生殖補助医療の現状
ハラスメント
メンタルヘルス

プロフィール

生殖心理カウンセラー
臨床心理士
山口大学学生相談所カウンセラー

ライブラリー紹介

山口きらめき財団では、男女共同参画の啓発のため、図書&ビデオ(DVD)の貸出しを行っています。

Book

女たちが動く
東日本大震災と男女共同参画視点の支援

みやぎの女性支援を記録する会／編著
生活思想社



宮城の被災した「女性たちによる女性たちのための支援記録」であり、災害時に着目されていなかった問題、課題の掘り起こしを試みたこと、防災・災害時の体験が共有できたことなどが地域の男女共同参画への取り組みの参考になると語られています。被災時の仕事と生活の区別がつかないという問題が提起されています。

Book

置かれた場所で咲きなさい

渡辺 和子／著
幻冬舎



置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。どんなときにも、その状況の中で「咲く」努力をしてほしいのです。現実が変わらないなら、悩みに対する心の持ちようを変えてみる。自分に与えられた試練に感謝する。

無駄のないすっきりした言葉が分かりやすく、最初から最後までまっすぐ心に伝わってくる内容です。